



とつか 2018年1月会報 第279号

国際会長(IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

2017 主 題 “Fellowship across the Borders” 「国境なき友情」
スローガン “Let Us Walk in the Light-Together” 「ともに、光の中を歩もう」

アジア太平洋地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」

～ スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

主 題 「広げよう ワイズの仲間」 “Extension Membership & Conservation”

2018 スローガン 「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」

湘南・沖縄部部長 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」 “Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



ワイズメンズクラブ国際協会 第21回東日本区大会

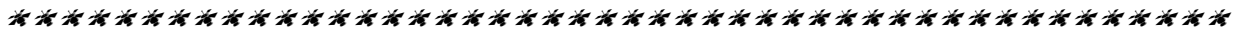
日 時：2018年6月2日(土)・3日(日)

会 場：プラサヴェルデ

ホストクラブ：沼津ワイズメンズクラブ

協力クラブ：富士山部 各ワイズメンズクラブ

後 援：沼津市・沼津商工会議所
静岡県東部地域コンベンションビューロー



会長ひと言

浦出 昭吉

～正月と私～

年が明け、私も73回目の正月を迎えました。

正月という節目の時節は、私には身も心もワンランク成長するのだという強い思い入れで、厳粛な気分にかけているようです。

最近数年の正月の実感、自分や周りがこの年齢で健康な若さを維持できる世の中の進歩発展に改めて感心し、そして一番身近で私の健康を支えてくれている妻に心から感謝し、さらに私を丈夫な体に育ててくれた亡き両親に心静かにお礼を述べる機会でもあります。

子供の頃のお正月といえば平和な空気の中で周囲のおとなたちからお年玉を沢山しとめホクホクで、今では絵空事でしかないタコ揚げやコマ回しに夢中で、言うなれば日本の茶の間がテレビに占領される直前の時代だったような気がします。そんな楽しいことづくめの私の正月ですが、今でも他人様には言えない恥ずかしい(?) ことが一つだけあります。

それは、獅子舞が怖かった…ことです。正月2日には朝から獅子舞のお囃子が聞こえ、町内の鳶の者に先導された獅子がわが家の玄関先でひとしきり舞い、最後に幼い私の頭をパクリとかじってメとなる、私に向かってくる頃が何歳だったか…、私の貴重な思い出ですが、今でもあのお囃子を耳にすると、我ながら頬笑ましくもほろにがくもある貴重な思い出です。

ワイズの皆さんにも、きっと貴重な思い出がお有り…?

◎今月の聖句◎

新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。主に向かって歌い、御名をたたえよ。日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。
—詩編96・1～2—

さあ 新しい年になりました、今こそ、主のみ名を讃え歌おうではないか…、と。それも、一日のことでなく、何日も歌いつづけようではないか…。

今年も私たちに、また困難な事が待ち受けていると思いますが、そうした困難に目をそらすことなく立ち向かってこそ、主のみ心に叶うことになるのです。

新しい年に当たり、恐れず勇気と愛の心で立ち向かえば、主のみ心に叶い、佳い報せも必ずやあなたに訪れます。

強調月間 IBC/DBC

IBC (International Brother Clubs) は国際兄弟クラブと訳し、外国のクラブと締結して永続的な交流を続けること。さらに、双方のクラブに留まらず、3クラブ以上が締結するケース (**IBC トライアングル**) もある。

DBC (Domestic Brother Clubs) は、上のIBCの国内版、東西日本区に分かれてからは、相互に締結するケースが増えている。

とつかは名古屋グランパスと締結・交流が続いている。

12月在籍者数			12月出席者数			出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	12	メ	ン	10	94%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	8	メ	ネット	3		前	月	迄	0	0	0	10,000	20,000	
			ゲ	スト	7		当	月		0	0	0		6,500	
計		20	合	計	20		累	計		0	0	0	10,000	26,500	

☆第1例会報告☆

若木 一美

日 時： 2017年12月2日(土) 18:30~20:00

場 所： 湘南とつかYMCA 1階ホール

出席者：(ゲスト) 池田直子 横浜 YMCA 広報室主査、

山本有里佳 湘南とつかYMCA スタッフ

(メン) 浦出・大高・長田・加藤・小俣・佐藤

鈴木・若木

(メネット) 加藤・吉原 計) 12名



今日の例会は、日本のYMCAがこの10月から創出・解禁した新しいブランドについて その衝に当たった池田広報主査にお出でいただき、その概要と問題点などを聴くのがメインプログラムです。

開会セレモニーの後には、賑々しくコグニサイズ、〇〇は人のためならず…とは申せ、山本スタッフの巧みな指導もさることながら、わが身の拙さをつくづく思い知らされたひと時でもありました。そしてお食事タイム、仕入れ先が変わり また美味しい差し入れも有って 楽しく頂きました。

小憩の後、いよいよ池田主査のお話が、各自に資料も配布され、PC画面を併用しながら 始まりました。

『130年を超える歴史を有する日本のYMCAには多くの人々を惹きつける魅力があり、その範囲は全国のあらゆる世代に広がりを見せており、数字でその一例を示すと、職員・教職員数：2,872人、非常勤職員・教員数：3,805人、ユースボランティア：6,734人、ポリシーボランティア：1,357人、賛助会員：8,624人、プログラム会員：約14万人…という結果になる。発表されたブランドロゴとスローガンが社会の訴求に応えながら、更なるステージへと向かって変化を遂げ 深化することができるか否かは、今後の

レイパーソンを含むYMCA全体の課題になるであろう。このロゴは‘鳥が正に飛び立とうとする瞬間の姿’をモチーフし、すでに横浜スタジアム脇の正面ネオンもこのロゴに変え好評をいただいている。またスローガン“みつかる。つながる。よくなっていく。”は、まさしく‘心をひらき、わかち合う。前向きで、また 意識すること、実践することでまわりを惹きつける、そして 選ばれる・魅力を持ったYMCAを目指す。’ことが示され、今後 YMCA が目指す指標が更にはっきりしたものとして受け留められていくことであろう…。』と結ばれました。

諸報告・協議では、5日のY-Ys協議会、9日のとつか合同クリスマス会、19日の第2例会(忘年会)、21日の全Yクリスマス等の出・欠を確認し、また 長田担当主事からYMCAの年末・年始の休館日 ほか の事務連絡がありました。

ハッピーバースディはゲストの山本指導官が該当し、記念品が会長から贈呈され、ハッピーバースディを歌って祝いました。

全員記念撮影に収まり閉会、場所を移し、池田主査によるブランディングの完結編で、いっそう盛り上がりました。



☆第79回 YMCA - Y's 協議会から☆ 加藤 利榮

3か月ごとに開かれるこの会合が12月5日(火)19:00~20:30・関内中央YMCA 501号室に田口総主事を始め担当主事と部・クラブ役員ら計25名が出席し、鎌倉クラブの担当で開かれました。

総主事のご挨拶では、「YMCAの新しいブランド『ポジティブネット』が少しずつだが一般に浸透し始めている、それぞれのYMCA歩調を合わせて…とはいかぬが、横浜としては、今後ともその深まりを積極的に進めていく考えだ…」と強調された。

諸報告では、①先ごろ山中湖センターで行われた‘東日本ユースリーダーズフォーラム’に参加した3名のユースからの報告、②ワイズエクステンション委員会の活動について佐藤節子次期部長から、③第20回チャリティーランについて長田光玄主事、④ブランディングについて井上孝一主事、⑤厚木YMCA子ども食堂の開設について奥菌一紀館長から、それぞれ報告と紹介がありました。

また、各クラブ報告では、横浜など6クラブの会長からなされ、とつかについて浦出会長から、ア.舞岡地区センター20周年祭りにクラブから3名が参加した(10/28)。イ.Y祭バザーの売り上げは、昨年を上回る好成績だった(11/3)。ウ.第1例会で「ブランディングの話」(池田広報主査)を伺った(12/2)…、などが報告された。

次回は3月6日(火)・とつかクラブ担当を確認し閉会しました。

☆第2例会報告☆ 浦出 昭吉

日 時： 12月19日(火) 18:00~21:30

場 所： ‘かしお’

出席者：(メン) 有田・大高・長田・加藤・佐藤・鈴木・土方・

吉原・若木・浦出

(メネット) 加藤・吉原 計) 12名

◇ 報告事項等

- ① 第1例会結果：12/2 (別掲) ほか
- ② 小俣会員退会に伴い 後任の会計担当に鈴木会員就任
- ③ 1月例会を合同新年会に振り替える件

◇ 会食・懇親会

本日のメイン、大高館長の乾杯で始まり、温かい鍋料理にアルコールも添えられ、1年の‘振り返り’と来る年に向けての‘抱負’などを十分に語り合いました。



☆YMCA クリスマスに参加して☆

加藤 利榮



12月21日(木)18:30から 湘南とつかYMCA ホールで開かれたYMCA クリスマス礼拝に、佐藤・土方・吉原(メ)・若木(メ)・加藤(メ)、それに 職員の大高館長に長田担当主事ら クラブから私を含む計8名が参加しました。

ともし火の点火に始まった第1部の礼拝では、讃美歌の斉唱を挟みながら主降誕の聖句が次々と朗読された後、クリスマスメッセージは恵泉女学園大学の宇野緑牧師から「暗闇にあるわたしの灯心」と題し大変示唆に富んだお話をいただき、また「富士山YMCA10周年募金」のための献金もあって 祝祷・後奏をもって終り、さらに 次年度採用内定者の紹介が力強くなされ、会場は大きな拍手に包まれました。

第2部は、一転和気あいあいムードのうちに進められました。瞬間に懇親会場に早変わりしたホール、たちまち、あちこちに歓談の輪が広がり、採用内定の若者からは、幼いころからYMCA に憧れていたとか、リーダー体験から是非とも…といった頼もしい答えが跳ね返ってきました。それと、私にはもう一つの仕事、それは「ユニーフ」の天下さんから、関連記事の載っている福祉タイムズ11月号(県社会福祉協議会発行)20部を預かっており、それを関係の方々にお渡しし・説明するお役目がありました。中には、天下さんを存じている職員もいて、話題が弾みました。

定刻の20時過ぎ、総主事のご挨拶で閉会となりました。

☆とつか合同クリスマス会に出て☆ 土方 喜美代

12月9日(土)16:30から、区内11の教会による『とつか合同クリスマス会2017』が開かれ、佐藤さん、吉原さん、それに加藤ワイズの4人で出席させていただきました。

第1部は、衣装を身に着けた子どもたちによる聖書朗読と聖歌隊の合唱によるクリスマスページェントが行われ、戸塚バプテスト教会の牧師よりクリスマス・メッセージをいただき、イエス様のご降誕と平和をもたらす神について、改めて心が強められる思いでした。

第2部は、ウクライナ出身で、民族楽器パンドウーラを演奏されたカテリーナさんによるコンサートが行われました。

パンドウーラの楽器の説明を流ちょうな日本語でしながら、多くの曲を聞かせてくださいました。

パンドウーラは、日本の琵琶を思わせる形をした楽器ですが、ハーブの様な美しい音色で、弦が62本も有るとのことでした。パンドウーラの音色にもまして、澄みきったカテリーナさんの美しい歌声、特に高音部の響きに魅了されました。

ウクライナ民謡のほか「シャボン玉」などの日本の歌やクリスマスソングなど時の経つのも忘れるひと時でした。

アンコールにも応えてくださり、盛んな拍手のうちにコンサートを終わりました。

皆様のご挨拶を交わし、寒い夜でしたが 心に温かい余韻を残しつつ帰路につきました。



【特別寄稿】

☆年始雑念☆

吉原 訓

私は地元の氏子神様(八幡神社)の総代を務めています。横浜市議の時 引き受けて以来10数年が経ちます。この手のものは一度引き受けるとなかなか逃げられないものです。

先日 神奈川県全体の神社総代会に出席をしてきました。県神社庁の庁舎再建のお祝いの席、組織創立70周年の式典の場でありました。式典終了直前の「万歳三唱」には驚きました。掛け声が「天皇陛下万歳」なのです。そもそも神社は自然崇拝に始まり 後に皇室や氏族の祖神、偉人や義士などの霊が神として祀られたものです。天皇家の歴史以前に神社の前身は存在し、神社は日本人の心のふるさとであり、日本独自の文化でもあります。世間には 一面をとらえて全体を見失うことがあるという典型です。怖いことです。

新しい年のスタートです。YMCAは当時青年の道徳的荒廃をキリスト教を通じて救済、矯正する目的で1844年、ロンドンで生まれたと聞きます。170余年後の今、青少年はどのような世界に生きているのでしょうか。一つには個々別々に生きていると言えます。その時々で都合の良い個と関わりを持ち、継続性に欠けている。別な言い方をさせていただくと 社会性が不足している。また一方では精神面が弱い。小さい時から人との交わりや生活全般で修羅場の経験が少ない事が原因であると思います。修羅場の多い事は決して良い事ではありませんが、現代社会の色々な場面での厳しさを乗り越える力は必要最小限蓄える必要があります。

YMCAにつながる私たちワイズメンズクラブは、目的達成に向け、何ができるのでしょうか、また すべきでしょうか。退会者があっても入会者が無い状況が続いています。存亡の危機に立たされている と言っても過言ではありません。私が世話人を務める寺(浄土真宗)の住職は「思い悩み、苦しみぬいた果ては、ただただ南無阿弥陀仏と唱えなさい。」「悟りの境地に達せよ。」と教えてください。…私にはとても到達できそうにありません。

しかしながら、残るメンバーは「Y=命」と称される人、クリスチャンとして慈愛の心あふれる人、いつも和やかに気遣いの人、横浜YMCAの重職につくであろう人、おいしい食べ物を持ってきてくれる人、クラブ内は高齢の心篤き人ばかりです。これからも、子や孫の温かな視線を感じながら活動を続けてゆきたいものです。(以上)



～‘鶴沼’がなぜ‘くげぬま’に～

藤澤市にクゲヌマという地名が有り、漢字で「鶴沼」と…。もともと「鶴」という字は「くぐい」と読み、「白鳥」の古語とか。そして「沼」、江ノ電の藤沢駅から二つ目の柳小路駅を降り高校の裏手に今でも蓮の植わった沼が有りますが、この辺りが、いわば「白鳥の湖」だったようです。この「くぐい沼」がいつかなまって「くげぬま」と呼ぶようになったとか…。(昭和の激動期を鶴沼に住み生き抜いた大和撫子のお話から)

—茅ヶ崎にて—

YMCA だより☆ 施設長・担当主事 長田 光玄

～心・温まるクリスマスチャリティーコンサート～

2017年12月24日(日)クリスマス・イブに東日本大震災復興支援クリスマスチャリティーコンサートを行いました。今年には横浜市立戸塚高等学校吹奏楽部を迎え、地域の方々と共にクリスマスをお祝いしました。戸塚高校吹奏楽部は神奈川県内でも屈指の吹奏楽部で、全国大会にも数回出場しています。クリスマスソングメドレーや子どもたちに大人気のアンパンマンメドレーなどなど1時間にわたる演奏はあっという間でした。用意したチケット250枚は、配布開始日の午前中にはすべてなくなりました。これから支えていくであろう高校生と東日本大震災復興支援の意味を共に考え、私たちに出来ることは「忘れない」「風化させない」「隣人を自分のように愛する」ということを改めて考えるとても良い機会となりました。戸塚地域のYMCAでは2018年3月10日(土)・11日(日)に東日本大震災復興支援イベントとして、今年も例年のように、チャリティーコンサート・街頭募金、そして仙台まつり宝山を迎え‘仙台すずめ踊り’を披露していただきます。



☆今月の歳時記から☆

‘雪 ゆき’ と ‘湯豆腐 ゆどうふ’

‘雪’、毎年、北国での雪による被害は跡を絶ちませんが、反面、雪は、「豊年のしるし」とも言われています。また、昔から雪月花とって、雪は冬の景観の大きな要素と言われてきました。新雪は降ったばかりの雪、根雪は春まで融けずに固まった雪で、北国特有のモノ。大きくてボテリとした感じの牡丹雪、細かく小粒に降る細雪などがあります。

酒のめばいとど寝られぬ夜の雪	芭蕉
降る雪や明治は遠くなりにはけり	草田男
潤む目や転校生の雪投げて	礼子

次に‘湯豆腐’、昆布をダシにして豆腐を煮立て、鯉節や生姜、葱を薬味に醤油や煮汁で食べる。豆腐のカタチを崩さずに煮るのがコツと言われる。数多い豆腐料理の中でも、夏の冷奴とならび代表的なものとしてされる。寒い夜などに、熱燗のお酒を片手に食べる湯豆腐は酒好きにはたまらない。

京都の南禅寺や天龍寺の湯豆腐は有名ですね…。

湯豆腐やつれ添うてほゞ五十年	躑躅
湯豆腐の大きく揺れて煮えて来し	晴子
湯豆腐の昼の湯気あげ南禅寺	狩行

(竹)



☆1月・2月のこよみ☆

- >1/13(土) Y-Y's合同新年会・ワークピアヨコハマ・18:00
- >1/22(月) 湘南とつかY運営委員会:かしお・18:00～
- >1/23(火) 第2例会:湘南とつかYMCA・201号室・18:30
- >2/3(土) 第1例会:湘南とつかYMCAホール・18:30～
- >2/12(祝・月) 横浜YMCA会員大会:湘南とつかYMCAホール
- >2/20(火) 第2例会:湘南とつかYMCA・201号室・18:30

～1月会合のご案内～

- ◇ 1月13日(土) Y-Y's合同新年会
ワークピアヨコハマは、部会をやった会場です。
会費:5千円(全員着席)・18時開会
横浜・厚木の両クラブがホスト役です。
第1例会に振り替えます。
- ◇ 1月23日(火) 第2例会・18:30～
1週ずらして、第4火曜日になります。
お間違えの無いように願います。

～HAPPY BIRTHDAY～

加藤 明子さん 1月5日

【掲示板】

会 長

◎ 1/13 (土) の合同新年会の件

- △ すでにお知らせしていますように、1月13日(土)の午後6時からワークピアヨコハマで開かれます。
- △ 3階‘カモメ宴会場’です(045・664・5252)。
- △ 会場は、フリードリンク付き大皿・着席の予定です。
- △ YMCAの日ごろの仲間との交流もよろしく…。

◎ 2/12 (月) 会員大会の件

- △ 例年2月11日の祝日に開催していますが、今年は当日が日曜日となる関係で、翌日の振替休日になりました。
- △ 新しいスローガンとロゴになって最初の大会です。
- △ この新しいブランドをこの大会でPRする絶好の機会となるよう 各人が心掛けたいものです。

◎ 3/12 (月) 子ども支援(BAPY)基金のためのチャリティーゴルフ開催の件

- △ 横浜YMCA主催、大会実行委員長は吉原 訓ワイズ、今回で3回目となります。
- △ 会場の戸塚カントリー倶楽部は、東・西コースとも当日は貸切りです。
- △ お一人でもお申込みいただけます。また お友だちもお誘いください。
- △ 前回第2回には、28グループ・109名のご参加があり、782,000円がチャリティーとなりました。

(後記)

明けまして…。

今年も この1年、よろしくお付き合いのほどを…。

(TK)